

安全データシート  
(SDS)

制定 2010 年 11 月 08 日  
改訂 2024 年 06 月 20 日  
最終確認 2025 年 03 月 21 日

1. 化学品及び会社情報  
化学品等の名称 粉末ハンダ RZ-159 (粉末ハンダ部分)

会社名 新富士バーナー株式会社  
住 所 愛知県豊川市御津町御幸浜一号地 1 番地 3  
担当部門 営業部  
電話番号 0533-75-5000  
FAX 番号 0533-75-5033

2. 危険有害性の要約  
GHS分類

<物理化学的危険性>		<健康に対する有害性>	
爆発物	分類できない	急性毒性(経口)	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない	急性毒性(経皮)	区分4
エアゾール	区分に該当しない	急性毒性(吸入: 気体)	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない	急性毒性(吸入: 蒸気)	分類できない
高压ガス	区分に該当しない	急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
引火性液体	区分に該当しない	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
可燃性固体	分類できない	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
自己反応性化学品	分類できない	呼吸器感作性	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない	皮膚感作性	区分1
自然発火性固体	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない	発がん性	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない	生殖毒性	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない	生殖毒性・授乳影響	分類できない
酸化性固体	分類できない	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
有機過酸化物	分類できない	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1
金属腐食性化学品	分類できない	誤えん有害性	分類できない
鈍化性爆発物	分類できない	<環境に対する有害性>	
		水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
		水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
		オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素  
絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

皮膚に接触すると有害  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
強い眼刺激  
臓器の障害のおそれ  
長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害  
長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

## 注意書き

- 安全対策** 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 応急措置** 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 保管** 容器を密栓して保管すること。
- 廃棄** 内容物／容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
- 他の危険有害性** 該当なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名または一般名

ソルダペースト

成分

物質名	化学式	CAS No	官報公示整理番号	含有量wt%
錫	Sn	7440-31-5	対象外	84.9
銀	Ag	7440-22-4	対象外	2.6
銅	Cu	7440-50-8	対象外	0.45
変性ロジン	-	-	7-946	2.3
変性ロジン	-	-	7-937	3.2
エステル系溶媒	-	-	(2)-2424	3.5
添加剤	-	-	-	3.05

## 4. 応急措置

- 眼に入った場合 清浄な水で十分に洗眼し、その後必要に応じて医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 石鹼水でよく洗浄する。
- 吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動する。
- 飲み込んだ場合 直ちに吐出し、その後必要に応じて医師の手当を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 ドライケミカル、エアフォーム、二酸化炭素(水系は除く)
- 特定の消火方法 消火はできるだけ風上から行い、付近の着火源を速やかに取り除く。
- 使っては成らない 水。金属が溶融している時は注水厳禁。
- 消火剤
- 消火を行う者の保護 消火時は風上に立ち、呼吸用保護具等を着用して発生ガスを吸入しないようにする。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意 回収作業は風上より行い、保護眼鏡、保護手袋、保護マスクなどを着用する。
- 環境に対する注意 公共用水域に流出しないよう留意する。
- 除去方法 漏出物は冷却後、掃き取るか又は掃除機で吸い取り、空容器等に回収する。  
回収物の処理は『13.廃棄上の注意』を参照、少量の場合は有機溶剤で拭き取り、回収物は上記同様に処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 素手で取り扱っては成らない。作業中は必ず保護眼鏡、マスクを使用する。
- 注意事項 屋内作業の場合、適切な排気装置を設ける。
- 保管 冷暗所(10℃以下)に保管する。
- 避けるべき事項 高温条件、強酸・強酸化剤との接触。

## 8. 暴露防止及び保護装置

設備対策  
許容濃度

使用時は局所排気を行う。

単位 mg/m<sup>3</sup>

日本産業衛生学会

ACGIH TWA

2021年

2021年

錫

-

2

銀

0.01

0.1

銅

-

0.2

保護具

呼吸器

保護マスク

手

保護手袋

眼

保護(ゴーグル型)めがね

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

金属光沢を持つ灰色ペーストでグリコール臭を有する

金属融点

217-219 °C

主溶剤蒸気圧

1.33Pa(0.01mmHg)/20°C

可燃性

可燃物を含む

比重

4.3

溶解度(水)

ほとんど不溶

n-オクタノール/水分分配係数(log値) 情報無し

分解温度

情報無し

主溶剤引火点

126°C

主溶剤発火点

305°C

酸化性

情報無し

発火性(自然発火性、水との反応性)

情報無し

沸点

情報無し

粒子特性

情報無し

## 10. 安定性、反応性

反応性

金属の為、強酸・強酸化剤と反応する。

化学的安定性

常温では安定

避けるべき条件

高温条件

混触危険物質

強酸・強酸化剤

危険有害な分解生成物

燃焼により、銅ヒューム。

燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素を放出することがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性

分類できない

皮膚腐食性/刺激性

情報無し

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

(Sn) 粉じんは眼や気道を刺激する

呼吸器感作性

情報無し

皮膚感作性

(Ag) 銀を含有する装身具への接触によりアレルギー反応を生じた記載がある。

生殖細胞変異原性

情報無し

発がん性

情報無し

生殖毒性

情報無し

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

(Ag) 呼吸器系の障害

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

(Sn) 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害(肺)

誤えん有害性

情報無し

水生環境有害性 短期(急性)

情報無し

水生環境有害性 長期(慢性)

情報無し

## 12. 環境影響情報

生態毒性

情報無し

残留性・分解性

情報無し

生体蓄積性

情報無し

土壌中への移動性

情報無し

オゾン層への有害性 情報無し

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物業者に委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規、自治体基準に従って処理する事。

金属成分についてはリサイクル可能。

## 14. 輸送上の注意

国連番号 非該当

海洋汚染物質 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては転倒、落下、損傷が無い様に積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

施行令第18条の2 名称等を通知・表示すべき危険物及び有害物 322 すず及びその化合物

施行令第18条の2 名称等を通知・表示すべき危険物及び有害物 137 銀及びその水溶性化合物

施行令第18条の2 名称等を通知・表示すべき危険物及び有害物 379 銅及びその化合物

PRTR法

第1種指定化学物質 管理番号 82 銀及びその水溶性化合物 2.6%

その他法令

下水道法 施行令第9条の4 銅及びその化合物

## 16. その他の情報

参考資料

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

この情報は改定日時点での情報を元に作成したものです。

正確を期していますが、保証するものではありません。個々の使用に対する使用条件や製品の適正な注意喚起や安全な取扱いを行って下さい。

この情報の使用及び使用結果については使用者の責任とさせていただきます。

# 安全データ・シート

新富士バーナー株式会社  
愛知県豊川市御津町御幸浜一号地 1 番地 3  
TEL:0533-75-5000 FAX:0533-75-5033  
担当部門：営業部

作成日 平成 9 年 3 月 4 日  
改正日 別紙  
最終確認日 令和 7 年 3 月 21 日

1. 製造者情報

2. 製品名 (化学名、商品名) : 粉末ハンダ RZ-159 (フラックス部分)

3. 物質の特定

単一製品 混合物の区分	混 合 物		
化学名	グリセリン 88.0%	臭化水素酸 12.0%	—
化学式(構造式)	OHCH <sub>2</sub> CH(OH)CH <sub>2</sub> OH	HBr	—
化審法番号	2-0242	1-105	
安衛法番号	知見なし	知見なし	—
CAS. No.	56-81-5	10035-10-6	-
P R T R 法 (第一種指定化学物質)    ホウ素 :    —    %    フッ素 :    —    %			

4. 危険有害性の要約

GHS 分類無機化学薬品のフッ化物に準ずる。  
物理化学的危険性： 火薬類

	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外

酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性：急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類対象外
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分 3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2 B
呼吸感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単開ばく露）	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない
環境に対する有害性水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

GHS ラベル要素：

絵表示又はシンボル：無し

注意喚起後：警告

危険有害性情報：軽度の皮膚刺激、目刺激

注意書き： 【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露をさけること。  
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。  
 屋外又は喚起の良い区域でのみ使用すること。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 汚染された作業衣を作業現場から出さないこと。

【救急対策】

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。  
 無理に吐かせないこと。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズ  
 を着用して容易に外せる場合には外して洗うこと。  
 皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣服をすべて脱ぐこと、  
 取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
 汚染された保護衣再使用する場合には洗濯すること。

## 【廃棄】

内容物や容器を、（国際/国/都道府県/市町村の規制に従って）廃棄すること。

5. 応急処置
- 眼に入った場合： 直ちに大量の水で15分間以上洗浄し、専門医師の手当を受ける
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣服を脱ぎ多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合： 鼻をかんで、うがいをする。
- 飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗わせる。可能であれば吐き出させる。

6. 火災時の措置
- 消化方法： 初期の火災には水の噴霧、炭酸ガス、ドライケミカルなどの消火器を用いる。大規模火災の際には泡消化剤などで空気を遮断することが有効である。燃焼すると炭素酸化物が発生する。
- 元来フラックスは火気と共存するものであるから作業現場には消化剤や保護具を準備して置く方が望ましい。

7. 漏出時の措置
- ： 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消化機材を準備する。
- 作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。
- 少量の場合は空容器にできるだけ回収し、そのあと水で洗い流す。
- 多量の場合は盛り土で囲って流出を防止し、砂などに吸収させて密封容器に回収する。

8. 取扱い及び保管上の注意
- ： ろう付作業で本品を使用する際に、フラックスが燃焼し熱分解あるいは蒸発して有臭且つ有毒なガスを発生し、目鼻などを刺激することがあるので作業中は換気の十分留意し、できれば簡易なマスク等を着用して作業者の目、鼻、気管等を保護する。
- 作業終了後は、速やかに洗面、うがい等を行いフラックスによる汚染を洗い流す。

保管： 冷暗所に密封して保管し、高温物に近づけない。

9. 暴露防止措置
- 管理濃度： —
- 許容濃度： 10 mg/m<sup>3</sup>（グリセリンミストとして）
- 設備対策： 排気設備のある所で、換気をしながら取り扱う。
- 保護具：
- 保護眼鏡： 着用（ゴーグル型等）
  - 保護手袋： 着用（ゴム手袋等）
  - 保護長靴： 着用（ゴム長靴等）

保護衣 : 着用  
 その他 : 防塵マスク

10. 物理／化学的性質 外観等 : 無色または淡褐色の液体

液性 : —  
 沸点 : 290℃  
 融点 : —  
 比重 : 1.25  
 溶解度 : 水20℃

11. 危険性情報 引火点 : 345℃

発火点 : 429℃  
 可燃性 : 引火性液体  
 発火性 : 自然発火性、水との反応性、なし  
 酸化性 : 特になし  
 自己反応性 : 水20℃  
 爆発性 : なし  
 安定性、反応性 : 常温、常圧で安定

12. 有害性情報 皮膚腐食性 : 皮膚組織を腐食する。

刺激性 : 眼、皮膚、粘膜を刺激する。  
 急性毒性 : 知見なし

13. 環境影響 分解性 : 易生分解性あり

蓄積性 : 殆どなし

14. 廃棄上の注意 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性のある液体に関する一般的な注意事項による。  
 低濃度排水は活性汚泥などで処理する。

15. 輸送上の注意 陸上輸送 : 消防法危険物に該当

海上及び航空輸送 : 非危険物

その他 : 引火性液体「火気厳禁」

16. 適用法令 消防法危険物 : 第4類第3石油類（指定数量4,000L）

毒劇物法 : 非該当

安全衛生法 : 知見なし



## 17. その他

調査文献 : 食品添加物公定書解説

注意 : 危険、有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意願います。この情報は新しい知見または試験などにより改正される事があります。

## 安全データ・シート改訂履歴

訂番	年 月 日	改訂の項目	改訂内容	作成者/訂正者
1	平成9年3月4日		新規作成	大高
2	平成19年1月31日		新規作成	岩崎
3	平成25年6月28日	G H S 対応	G H S 対応による危険有害性の要約追加	岩崎
4	平成29年6月12日	配合量	臭化水素酸の配合：8.3%⇒12.0%に増量	岩崎
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				